

ランチョンセミナー 1-7

日本における QIBA 関連活動と今後の展開

QIBA Activities and Future Development of Imaging Biomarkers in Japan

2016年11月3日(木・祝)

12時15分~13時15分

◆ 第9会場

(名古屋国際会議場 2号館 2階 会議室 224)

※本ランチョンセミナーは、整理券制です。

【配布場所】 ランチョンセミナー整理券配付所
(名古屋国際会議場 1階 アトリウム)

【配布日時】 2016年11月3日(木・祝)
7時30分~12時05分(なくなり次第終了)

【注意事項】 整理券は、セミナー開始5分後に無効となります。
整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただきます。

座長 **米倉 義晴 先生**

Yoshiharu Yonekura, M.D., Ph.D.

国立大学法人 福井大学 名誉教授
University of Fukui / Professor Emeritus

演者 **井上 登美夫 先生**

Tomio Inoue, M.D., Ph.D.

公立大学法人 横浜市立大学
Yokohama City University
大学院医学研究科放射線医学 教授
Department of Radiology / Professor



第56回日本核医学会学術総会

The 56th Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Nuclear Medicine



第36回日本核医学技術学会総会学術大会

The 36th Annual Meeting of the Japanese Society of Nuclear Medicine Technology



株式会社マイクロン

Molecular Imaging CRO Network

座長 Chairman



米倉 義晴 先生

国立大学法人 福井大学 名誉教授

経 歴

- 昭和 48 年 京都大学 医学部医学科 卒業
- 京都大学 医学部附属病院 研修医、医員 (放射線科)
- 昭和 51 年 京都大学大学院 医学研究科 博士課程入学 (核医学講座)
- 昭和 55 年 同 修了, 京都大学 医学博士
- 京都大学 医学部附属病院 核医学科 助手
- アメリカ合衆国 Brookhaven 国立研究所 Visiting Assistant Scientist
- 昭和 57 年 アメリカ合衆国 Johns Hopkins 大学 Research Fellow
- 昭和 58 年 帰国し, 京都大学 医学部附属病院 放射線部 助手 (復職)
- 昭和 62 年 京都大学 医学部 核医学講座 講師
- 平成 2 年 京都大学 医学部 脳病態生理学講座 助教授
- 平成 7 年 福井医科大学 高エネルギー医学研究センター 教授
- 平成 10 年 福井医科大学 高エネルギー医学研究センター センター長 (併任)
- 平成 15 年 大学統合により福井大学に所属変更
- 平成 17 年 放射線医学総合研究所分子イメージング 研究センター長 (併任、非常勤)
- 平成 18 年 福井大学を退職、福井大学 名誉教授
- 放射線医学総合研究所 理事長
- 平成 28 年 同 退任

活 動

- 平成 23 年 ~ 日本学術会議会員
- 平成 17 年 ~ ICRP (国際放射線防護委員会) 第 3 専門委員会委員
- 平成 19 年 ~ UNSCEAR (原子放射線による影響に関する国連科学委員会) 日本代表
- 平成 27 年 ~ 同 議長

受 賞

- 昭和 60 年 第 22 回日本核医学会賞
- 平成 13 年 米国核医学会 (Society of Nuclear Medicine), Kuhl-Lassen Lecture 賞
- 平成 18 年 第 1 回福井県科学学術大賞

演者 Presenter



井上 登美夫 先生

公立大学法人 横浜市立大学
大学院医学研究科放射線医学 教授

経 歴

- 昭和 52 年 群馬大学 医学部 卒業
- 群馬大学 教務部 医学部放射線医学講座 入局
- 昭和 55 年 群馬大学 医学部附属病院 中央放射線部 助手
- 昭和 57 年 関東通信病院 放射線科
- 昭和 60 年 群馬大学 医学部 核医学講座 助手
- 平成 1 年 群馬大学 医学部 核医学講座 講師
- 平成 4 年 群馬大学 医学部 核医学講座 助教授
- 同 附属病院 放射線部 助教授 (兼任)
- 平成 6 年 米国テキサス大学 M.D.Anderson がんセンター
診断放射線部 核医学部門に留学 Post-doctoral fellow
- 平成 7 年 群馬大学 医学部 核医学講座 助教授
- 同 附属病院 放射線部 助教授 (兼任)
- 平成 13 年 横浜市立大学 医学部 放射線医学講座 教授
- 同 附属病院 放射線部 教授 (兼任)
- 平成 15 年 横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学 教授
- 平成 20 年 横浜市立大学 先端医科学研究センター長 (兼任)
- 平成 26 年 横浜市立大学 附属市民総合医療センター 病院長 (兼任)
- 平成 28 年 横浜市立大学 医学部長、医学教育センター長 (兼務)

活 動

- 平成 23 年 ~ 平成 27 年 日本核医学会 理事長
- 平成 24 年 ~ 日本医学放射線学会 理事

受 賞

- 昭和 58 年 第 21 回 日本核医学会賞
- 平成 15 年 貢献賞:「第 35 回日本原子力学会賞」(日本原子力学会より)

セミナー要旨:日本におけるQIBA関連活動と今後の展開

近年、病態や治療効果の把握を目的とした医学的研究が世界各地で進められており、中でも画像を用いた定性的・定量的な指標がエンドポイントとなる研究に関して、新たな解析手法や撮像技術、評価基準等の開発の必要性が高まっています。

こうした状況の下、2007 年から北米放射線学会 (RSNA) において、臨床画像データを標準化し、客観的・定量的な評価・解析を行い、バイオマーカーとして臨床医学に役立てようとする試みである Quantitative Imaging Biomarker Alliance (QIBA) の活動が行われています。先般、日本でも QIBA-Japan が発足し、いくつかのプロジェクトがスタートしており、本分野に関する議論も各方面で盛んになりつつあります。

本セミナーでは、QIBA-Japan のとりまとめを行っていらっしゃる井上先生を演者に、放射線医学研究所 (現・量子科学技術研究開発機構) の前理事長でいらっしゃる米倉先生を座長にお招きして、QIBA 関連活動についてご紹介いただくとともに、日本発のイメージングバイオマーカー研究開発の展望についてご講演頂きます。



Imagine a better world

株式会社マイクロン

<http://www.micron-kobe.com/>

- 【本社】 東京都中央区日本橋 1 丁目 5 番 3 号
日本橋西川ビル TEL: 03-6262-2830
- 【支社】 大阪府大阪市淀川区宮原 5 丁目 1 番 3 号
新大阪生島ビル TEL: 06-6399-0007
- 【事業所】 愛知県大府市森岡町 7 丁目 430 番地
TEL: 0562-46-2105

Imaging CRO のリーディングカンパニー

画像関連業務を幅広く支援します

治験におけるサポート

- 撮像～読影会開催までワンストップの画像ハンドリング、モニタリング、監査
- PET 試験の支援 (施設構築、技術移管支援)、撮像条件の標準化 (ファントム試験)
- アカデミア臨床研究のトータルサポート、各種画像解析支援
- Volumetric 解析 (CT/MRI)、動態解析 (PET)、膜肥厚解析 (OCT)、再生医療等評価
- 上記以外にもご要望に応じてご対応させていただきます。